

買い物ごみを減らすために



ものを贈るときには、少しでも喜んでもらいたいという気持ちや、失礼に当たらないようにとの配慮を、包装や装飾で表すことがあります。きれいに整えて贈られたものに、もらう側もうれしさが増すものではないでしょうか。

一方で、包装紙や箱、リボンなどは、品物を取り出せば不要となり、「このためだけにもったいない」と感じたことはありませんか？

贈る側とももらう側では、気持ちのギャップが少なからずある場合があります。

■エコ包装を知っていますか？

いくつかのお店では、お中元やお歳暮などでエコ包装に取り組まれています。

エコ包装とは、

▼二重包装をしない

▼部分包装にとどめる

▼見栄えのための外装を使わない

など、包装を簡略化するものです。

ものを贈るとき包装は、選択することができます。贈る気持ちを大切にしながら、それぞれの場合に応じて、不要となるかもしれないものを断ることも考えてみましょう。

■包装のムダを考えてみましょう

私たちの周りのさまざまな商品を考えてみると、一つずつが個包装され、それ全体を入れた袋が箱に入っていて、さらに包装している、というように、何重にも包装されているものがあります。

家に帰ってすぐに使用するものなどは、簡易包装された商品や包装を用いない商品を選択しましょう。

■レジ袋も買い物ごみのひとつです

スーパーなどでは、レジ袋の削減や無料配布の中止を推進する取組も実施されています。買い物の際は、マイバッグを持参するなどしてレジ袋の利用を減らしましょう。

買い物ごみを減らすために、包装についても少し考えてみましょう。

